

第 1 回策定会議での指摘事項について

1 「【資料5】課題の分析・整理、全体の策定方針について」の修正

(1) 「Ⅰ姫路市の現状と将来予測」について

ア 指摘内容（要約）

- ・人口統計がすでに推計を下回っている
- ・障害者手帳の重複所持者がわかるように訂正したらどうか
- ・障害者手帳だけでなく自立支援医療利用者数も記載してはどうか

イ 修正内容

資料2のとおり修正しました。

(2) 「Ⅱ姫路市の障害福祉における課題の整理」について

ア 指摘内容（要約）

- ・実態調査結果について、障害種別により回答の割合が異なるので、統計結果に留意してほしい。

イ 修正内容

資料2のとおり修正しました。

(3) 「Ⅲ策定方針」について

ア 指摘内容（要約）

- ・障害のある子どもへの支援の充実について、子どもに限定した表現を変えてほしい。
- ・重点施策について、相談支援体制の充実も必要であるが、人材確保が一番大きな要因と思う。また、地域移行の推進の前に、地域の基盤整備、地域生活拠点や精神にも地域包括の仕組みづくりが重要ではないか。

イ 修正内容

資料2のとおり文言を修正しました。

2 その他の指摘に対する回答

(1) 「【資料2-1】姫路市障害者等実態意向調査報告書」について

ア 指摘内容（要約）

- ・実態調査資料で同居者は配偶者が一番多いが、支援者は兄弟が一番多いのはなぜか。

イ 回答

支援者で一番多いのは「父母・祖父母・兄弟姉妹」。配偶者と同居している人については、配偶者も高齢であり支援できないためと考えられます。

(2) 「【資料1】姫路市障害福祉推進計画第6期 令和4年度実績」について

ア 指摘内容（要約）

- ・どうすれば相談支援員が増えるか。どうすれば報酬単価は増えるか。

イ 回答

基幹相談支援センターにおいて、相談支援事業所に対して、専門的な支援・助言、研修等を充実させるなどにより、人材育成を行い、市全体の相談支援体制の強化に取り組めます。

(3) その他

ア 指摘内容（要約）

- ・障害は老人より支援が少ない。家族も安心して生活していけるようにしてほしい。

イ 回答

本会議の協議事項である各施策を推進することによって安心して生活できる環境につなげていきます。

3 今後の検討案件

以下の指摘内容については、計画に掲載するには個別事業にかかわる詳細な内容であるため、今後、別途検討する予定とします。

- ・移動支援の報酬単価を上げてほしい
- ・社会福祉審議会の身体障害者分科会の名前を変えてほしい
- ・移動の支給決定時間数の上限を撤廃してほしい
- ・日中支援型 GH で日中に外部通所を認めてほしい
- ・相談支援について仕事量を見直してほしい
- ・緊急短期入所について、独自加算を設けてほしい
- ・相談支援事業所の空き情報がわかるシステムがあればよい
- ・就労移行支援の期間について融通をきかせてほしい